

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	健康教育事業	担当課	保健課
細分化した事業名			

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり	
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実	
	施策	健康づくりの推進	
関連する個別計画等	健康増進計画	根拠条例等	健康増進法

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	生活習慣病の予防及び介護を要する状態となることの予防その他健康に関する事項について、正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行い壮年期からの市民の健康の保持・増進を図る。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> 健康アップ教室の実施 陸上ウォーキング教室の実施 水中運動教室への助成 総合健診結果報告会での健康教育 高血圧予防教室・要請があった団体に対しての教室開催（出前塾）等 健康カレンダーの配布（24年度より広報4月号の別冊として全戸配布）
事業の対象	健診結果等より保健指導が必要とされる者（要指導者・軽度異常者・若年肥満者等）、またはその家族等。生活習慣病予防に関心のある者。

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	3,102	1,917	1,694
財源内訳	国・県支出金	504	504	504
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	2,598	1,413	1,190
B	担当職員数(職員E) (人)	0.30	0.31	0.33
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	2,045	2,073	2,142
D	総事業費(A+C) (千円)	5,147	3,990	3,836
主な事業費用の説明	平成24年度はカレンダー一分△1,000千円			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 健康アップ教室	開催回数(回)	29	28	24
	2 健診結果報告会	開催回数(回)	38	39	37
	3 陸上ウォーキング教室	開催回数(回)	2	2	3
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当である <input type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	健診結果より生活習慣の改善が必要な者が参加。3か月間(1/W)の集中教室を2コース開催。食習慣改善の学習と運動実習を行っている。			
	2	健診日ごとに結果報告会を開催。結果内容別にクラスを分け実施している。個人通知により日程を周知。参加日の調整も出来るようにしている。			
	3	スポーツ推進委員や食生活改善推進員等と共に企画開催している。広報や回覧、ライフカレッジ等で周知を図っている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	健康アップ教室 教室参加者のうち腹囲改善状況	参加者数 改善率	264 59.5	265 60.8	314 83.3
	2	健診結果報告会	出席者数 出席率	623 86.9	628 78.8	574 70.9
	3	陸上ウォーキング教室 アンケート結果	参加者数 満足度 (%)	88 100.0	120 93.3	138 96.2
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	生活習慣病予防に関する情報提供や運動習慣・正しい食生活の知識が啓発できた。また参加仲間と共に予防意識の向上が図れている。メタリックシンドローム診断基準である腹囲は改善できた者が多い。				
	2	健診結果報告会において個々に結果を手渡し、自身の健康状態の確認と生活習慣病予防、また早期治療のための保健指導を行うことが出来ている。欠席者は健康相談日來所等出来るだけ手渡して説明するようにしている。				
	3	スポーツ推進委員や食生活改善推進員等と共に開催することで運動習慣への動機付けや食生活の知識の啓発も行えている。参加者の交流も図れ、満足度も高い。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大 (コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 (事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善 (内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小 (規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止 (廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性 (いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画 (今後の事業展開説明) 生活習慣病予防や改善のための健康アップ教室等は終了後フォロー教室を開催し、生活習慣や健診結果が悪化しないように支援していく。また初めて健康診断を受診した人を対象に結果報告会を実施し生活習慣病予防についての意識の啓発を図っていく。
過去の改善経過	~20年3月 老人保健法に基づく健康教育事業として各種健康教室を実施 平成20年4月より、健康増進法に基づく健康教育事業となる。 特定保健指導 (内臓脂肪症候群:メタボリックシンドロームに着目した生活習慣の改善に重点を置いた指導) の対象者以外の生活習慣病予防・改善を目的とした健康教室、また全対象者向けの健康教室を開催している。
課長所見	病態を悪化させないよう適切な支援を行うとともに、生活習慣病予防の重要性についても啓発を図っていくことが必要である。